

＼ おわりあさひ ＼

NO.
253

2026

9.1



市議会だより

特集 P2-3 尾張旭市議会の議会改革

P5
委員会での審査

P6
議案等の審議結果

P4
6月定例会での主なことがら

P7-10
個人質問

P11
陳情の取扱い方法の変更・9月定例会の日程

P12
令和7年度政務活動費の収支実績



令和8年7月
尾張旭市民プール
スイトとあさひ
がオープンしました。

＼ 愛知県内6位! /

強みをいかし、課題に挑む 尾張旭市議会の議会改革

～市民に開かれた、信頼される議会を目指して～

1 政策力の強化

◆ 政策立案を行う際の流れを明確化!
委員会による積極的な政策立案を行っています。

- 中学校の休日部活動の指導者確保に関する提言
(福祉文教委員会)
- モバイルバッテリー等を含むリチウムイオン電池
を使用する製品等の適正排出及び火災防止対策に
関する提言 (都市環境委員会)



◆ 効率化により、政策力を高めています。

- 議会運営にタブレットや会議システムなどを導入し、ICT化を進めています。
- 委員会へのオンライン出席を制度化しました。
- 議会の手続のオンライン化を進めています。

3 議会機能の強化

◆ 尾張旭市議会BCP (業務継続計画) を策定し、随時見直しています。

◆ 予算・決算説明の事前配付により、予算決算委員会分科会の効率化を進めています。

総合評価 全国**161**位 [▲39位UP]

地域経営のための議会改革度調査2025

政策力の強化
全国**300**位以下

主権者の参画
全国**243**位

議会機能の強化
全国**30**位
**愛知県内
1**位

(早稲田大学デモクラシー創造研究所) 全国1,788議会を対象に1,372議会が回答(回答率76.7%)

「議会改革度調査2025」において、本市議会は総合順位を大幅に伸ばし、愛知県内6位となりました。特に、県内1位に輝いた「議会機能の強化」は、本市議会が誇る最大の強みです。2026年にはこの強みをいかし、課題である「政策力の強化」や「主権者の参画」の克服に注力しています。市民の皆様に寄り添う政策提案型議会へ、更なる進化を目指します。

2 主権者の参画

◆ 市民との意見交換をメインとした議会報告会へ。

- 福祉文教委員会 ▶ 令和8年4月26日に「どうする？ どうなる？ 中学校部活動」をテーマに開催。54名の市民の皆様とともに、これからの部活動の在り方を考えました。
- 都市環境委員会 ▶ 令和8年6月6日にリチウムイオン電池内蔵品による火災対策をテーマに開催。身近な危険から暮らしと財政を守る新しい解決策を、29名の市民の皆様と議論しました。



◆ 議会ホームページに掲載する資料を随時検討しています。

◆ 本会議の中継に加え、委員会のYouTube配信を行っています。

◆ わくわく親子議会探検ツアーなど、主権者教育にも取り組んでいます。

議長のメッセージ

これまでの本市議会の議会改革の地道な取組が、全国的にも高く評価され大変光栄です。現在、特に力を入れていることは、政策立案機能の強化です。そのため、常任委員会の任期を試行的に1年から2年にし、各委員会で政策立案を行う試みに挑戦しています。さっそく、福祉文教委員会と都市環境委員会では提言書をまとめ、市へ提出しました。また、議会報告会を開催し、提言書の内容の説明や意見交換を行い、次の新たな政策立案の参考にさせていただきます。

尾張旭市がよりよいまちとなるよう、引き続き、行政の監視機能だけでなく、政策立案機能の強化に取り組んでまいります。

6月 定例会での主なことから

尾張旭市議会令和8年第4回(6月)定例会が、6月8日から6月29日までの22日間開催され、市長提出議案5件、同意案11件、諮問1件、請願1件、陳情9件、意見書1件を審議しました。

補正予算

※金額は千円以下切り捨て

第32号議案 令和8年度一般会計補正予算(第1号)

既定の予算総額に歳入歳出それぞれ**1,766万円**を追加し、総額**325億7,766万円**となりました。

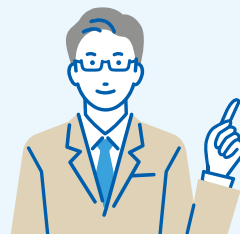
【主な内容】

歳入

地域クラブ活動参加料で**1,260万円**を追加
国・県の補助金で**506万円**を追加

歳出

総務費では、平子町北地内市有地利活用推進事業に係る公募事務支援委託料などで合計**120万円**を追加
民生費では、児童扶養手当システム改修委託料で**165万円**を追加
教育費では、地域クラブ活動委託料、地域クラブ活動参加支援金などで合計**1,695万円**を追加

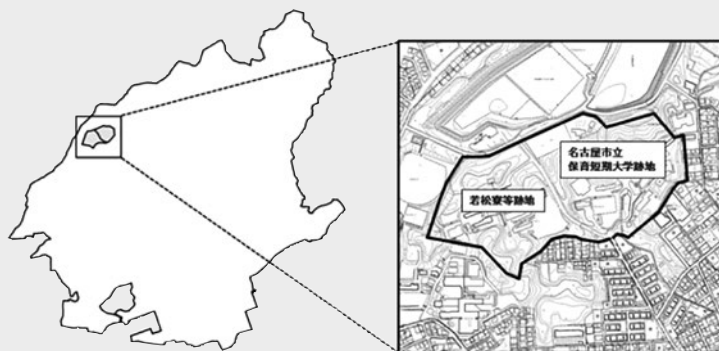


条 例

トピックス

第33号議案

尾張旭市平子町北地内市有地利活用事業者審査会条例の制定



平子町北地内市有地の売却に向けた取組を進めます

平子町北地内市有地の売却公募に向けて条例を制定し、有識者や住民の代表者で構成する審査会で、企画提案事業者の審査及び選定を行います。令和9年2月頃の優先交渉者の決定を目標に、事業を進めていきます(関係機関との調整の進捗により、スケジュールが変更となる可能性があります。)



予算決算委員会での審査

各分科会の二次元コードから、該当する分科会の動画を直接開くことができます。

総務分科会

第32号議案 令和8年度一般会計補正予算(第1号)



Q 平子町北地内市有地利活用推進事業、公募事務支援委託料の内訳と売却公募要領の策定に課題はあるか。

A 予算額100万円の内訳は、法的適合性の確認を依頼する弁護士費用など。主な課題は、平成24年に結んだ売買契約書の「公用又は公共用に自ら供する」とした用途指定と、当該市有地の北側にある名古屋市管理用道路についての協議である。

福祉文教分科会

第32号議案 令和8年度一般会計補正予算(第1号)



Q 歳入、地域クラブ活動参加料1,260万円の積算根拠は。

A 活動に係る運営経費は、原則受益者に負担していただく。内訳は、指導者報酬・保険料・運営管理システム費用等が含まれる。国が示す参加費等の金額の目安や公費負担を考慮し、運営経費の約75%を参加料とした。

積算根拠

1人当たりの運営経費：4,000円/月－公費負担25%＝3,000円/月
3,000円/月×600人×7か月＝1,260万円

各常任委員会での審査

各委員会の二次元コードから、該当する委員会の動画を直接開くことができます。

総務委員会



第36号議案 救助工作車の取得

Q 救助工作車を更新するということであるが、出勤状況と内容について伺う。

A 救助工作車の出勤状況は、令和5年に70件、令和6年は71件、令和7年は90件と、ここ3年は増加傾向にある。出勤内容としては、交通事故や家屋での閉じ込めなどとなっている。



議案等の審議結果



全会一致で原案可決等された議案

議案番号	件名	可否等	議案番号	件名	可否等
1 第33号	平子町北地内市有地利活用事業者審査会条例の制定	可決	同意案第8号	農業委員会委員の任命	同意
第34号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	可決	同意案第9号	農業委員会委員の任命	同意
第35号	市税条例の一部改正	可決	同意案第10号	農業委員会委員の任命	同意
同意案第3号	農業委員会委員の任命	同意	同意案第11号	農業委員会委員の任命	同意
同意案第4号	農業委員会委員の任命	同意	同意案第12号	農業委員会委員の任命	同意
同意案第5号	農業委員会委員の任命	同意	同意案第13号	農業委員会委員の任命	同意
同意案第6号	農業委員会委員の任命	同意	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	適任
同意案第7号	農業委員会委員の任命	同意	意見書案第3号	ドナーミルクの利用拡大を求める意見書	可決

賛否が分かれた議案

○：賛成 ×：反対 を表示しています。
 網掛けは、討論を行った議員です。
 議長（さかえ章演）は採決に加わりません。

賛否が分かれた議案			会 派 名																			
			令和あさひ								市民クラブ					公明党 尾張旭 市議団			日本共産党 尾張旭 市議団		愛知維新の会 尾張旭 市議団	
			秋田さとし	さかえ章演	陣矢幸司	谷口武司	日比野和雄	松原たかし	安田吉宏	若杉たかし	市原誠二	いとう伸一	大島もえ	櫻井直樹	早川八郎	芦原美佳子	片淵卓三	丸山幸子	川村つよし	榊原利宏	勝股修二	山下幹雄
○：賛成 ×：反対 を表示しています。 網掛け は、討論を行った議員です。 議長（さかえ章演）は採決に加わりません。																						
議案番号	件 名		可否等																			
第32号	令和8年度一般会計補正予算(第1号)		可決	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
第36号	救助工作車の取得		可決	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
請 願 第 1 号	憲法尊重擁護義務の徹底と慎重な憲法改正議論を求める意見書提出を求める請願		不採択	×	－	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	
陳 情 第 2 号	最低賃金の全国一律化と大幅引き上げ、中小企業支援の拡充と公正取引を求める意見書の提出を求める陳情		不採択	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
陳 情 第 3 号	愛知県最低賃金の適切な引き上げに愛知県が積極的な役割を発揮することを求める意見書の提出を求める陳情		不採択	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
陳 情 第 4 号	公契約事業従事者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情		不採択	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
陳 情 第 5 号	住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情		不採択	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
陳 情 第 6 号	地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情		不採択	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
陳 情 第 7 号	保育所職員の人材定着・確保のため保育士配置基準と公定価格を抜本的に改善し、離職しない保育職場の実現を求める意見書の提出を求める陳情		不採択	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
陳 情 第 8 号	介護・障害福祉職場の1人夜勤をなくし、複数配置を基準とすることを求める意見書の提出を求める陳情		不採択	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
陳 情 第 9 号	教職員の長時間過密労働を解消するための実効ある施策をすめ、年間を通じた教員の未配置を直ちに解消するための施策を求める意見書の提出を求める陳情		不採択	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
陳 情 第10号	公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情		不採択	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	

討論の内容は、市議会のホームページ(「提出議案と議決結果」で検索→定例会等名)からご覧いただけます。

1 のついた議案は、P4の「6月定例会での主なことがら(トピックス)」で詳しい内容をご覧いただけます。

※議長(さかえ章演)、副議長(大島もえ)、監査委員(芦原美佳子)は、慣例により一般質問を控えています。



設置密度が足りない 街頭消火器、今後どうする？

谷口 武司



Q

過去10年間で戸建て住宅火災において消火器を使用した初期消火の実行件数と、成功件数、そのうち、街頭消火器の使用件数は。また、今後街頭消火器をどうしていく方針か。

A

予防課主幹／実行件数は5件でうち4件は成功しているが、街頭消火器の使用事例はなく、各家庭に備え付けられた消火器であった。初期消火が可能な状況のうちに、街頭消火器を取りに行くことは難しい。

総務部長／街頭消火器は、使用期限である10年を経過したものから順次撤去していく。



身寄りのない高齢者等に対する支援制度の構築を！

丸山 幸子



Q

全国的に身寄りのない単身高齢者が増加し、入院時の身元保証、死後の事務等を行う者が誰もいない「無縁化」が高まっている。本市の身寄りのない高齢者等に対する支援制度の構築についての考えを伺う。

A

健康福祉部長／頼れる身寄りのない高齢者等に対する支援制度の構築は、本市が優先的に取り組むべき課題である。現在、具体的に検討を進めている「重層的支援体制整備事業」の枠組みをいかし、支援体制の確立に努めていきたい。



中学校部活動の 廃部問題について

櫻井 直樹



Q

廃部によって、平日部活動がなくなっていく。平日部活動がなくなることによる子どもたちへの影響を、どのように捉えているか。

A

教育長／平日部活動がなくなり、学びの場の一つが減ることは、生徒にとって少なからず影響を与えてしまうのではと推察する。教職員が本来の業務に注力し、心にゆとりをもって生徒と向き合い、形は変わるが、部活動が持つ教育的意義を継承できる環境を整えていき、学校教育への信頼感向上につなげていきたい。



バニラ Visaギフトカード 「端数が使いにくい」

山下 幹雄



Q

経済対策に伴う本市の給付事業「プリペイドカードタイプ」は、高齢者層を中心に不公平感や戸惑いが生じている。今からでも使用方法の不満を受け止め、理解を求める周知をすべき。※このイラストはイメージです



A

企画部長／端数の使いにくさは、カードを現金と併用できないことが要因。独自の対応により併用できる店舗を市ホームページで周知することを始めた。



軽救急車を導入し迅速な救命体制の構築を！

市原 誠二



Q

救急車が現場に到達できない事態は市民の命や予後のよしあしに直結する。迅速な救命体制を確保するため軽救急車の導入について市の考えを問う。

A

消防長／狭あい地では救急車が入れず資機材を担いで現場へ向かう等の対応をとっている。軽救急車は機動力と低コストが利点で迅速な救命処置に寄与すると期待される。他市の運用状況を調査し、地域特性や出動計画と照らし導入可能性を研究していく。

大災害！停電が続くと上下水道はどうなる

勝股 修二



Q

商用電力を喪失した際、配水場や浄化センターなど最重要インフラである上下水道施設において、長期にわたる電源の喪失が具体的にどのような影響を及ぼすのか想定を伺う。

A

上下水道部長／配水場は約14時間、浄化センターは約24時間、備蓄燃料で稼働するが、長期化すれば運転に支障が生じる。県営水道からの給水停止リスクもあり、最悪の事態として大規模な断水や下水道への排水制限の実施も想定される。

子どもの弱視を皆で理解しましょう

いとう 伸一



Q

弱視は視力の発達が遅れ、眼鏡等で矯正できない。治療法にはアイパッチにより片目を塞ぎ弱視の目だけで生活をする訓練がある。子どもには負担になり、全員が保育園や小学校に申告しているわけではなく、円滑なコミュニケーションと周囲の理解が大切である。

A

こども子育て部長／保育園では、座席の前方や正面への配置、他の児童への理解を促している。
教育部長／小学校では更に拡大教科書やタブレットの活用などの配慮をしており、柔軟な対応を検討していく。

中学校部活動と教職員の働き方改革の今後について

早川 八郎



Q

定期的やリアルタイムにアップデートした、部活動の情報発信の必要性について伺う。また、今問題になっている部活動の根本的な解決は、指導者確保が最重要課題ではないか。

A

教育部長／休日部活動の考え方を大きく見直したこともあり、今後はより丁寧な情報発信に努める。指導者確保については、適切に指導が行えるよう一人でも多くの指導者を確保し、新たな種目の開設も含め、地域や各種団体、民間企業などと連携の上、指導者の確保に努める。



白山林の戦いについて



若杉 たかし



Q

昨年12月に「小牧・長久手の戦い」での局地戦“白山林の戦い”の碑が緑町に建てられた。これで市内に戦国史に残る史跡スポットができたと思う。今後どのように活用するか伺う。

A

教育部長／令和5年大河ドラマを契機に「小牧・長久手の戦い」にゆかりのある市町と同盟を結び史跡めぐりなどのイベントを開催している。この「小牧・長久手の戦い同盟」の取組も合わせて、本市の歴史的資産をいかしたシティセールスを引き続き展開していく。

矢田川河川緑地の今後の整備について



松原 たかし



Q

矢田川河川緑地の今後の整備について伺う。

A

都市整備部長／矢田川河川緑地は、市街地の中で自然を身近に感じられる貴重なオープンスペースとして、更なる利活用を図り、河川緑地へのアクセス向上のため、本年度、庄中橋下流の右岸側に駐車場を整備し、以前からの課題であった路上駐車対策を進める。また、散歩道や自転車道については、市民プールのリニューアルなどの環境変化も踏まえ、今後の整備の方向を改めて検討していく。

旭平和墓園の改修等の計画について



日比野 和雄



Q

旭平和墓園のバリアフリー化の状況について。

A

市民生活部長／高齢化の進展を踏まえ、利用者の皆様が安全かつ安心してお参りいただけるよう、一般墓地区画のバリアフリー化工事を順次実施している。一般墓地14区画のうち、バリアフリー化が済んでいる区画は11区画であり、未実施の区画は、E区画、F区画、N区画となっている。令和10年度を目途に全ての区画のバリアフリー化工事を計画していく。

三郷駅橋上駅舎は政府要綱に即し名鉄に費用負担を求めよ



榊原 利宏



Q

三郷駅前再開発計画では、名鉄関連・自由通路等の事業費は国22億円、市23億円で名鉄に負担がない。政府要綱では鉄道側に受益が生じる場合、費用の一部を鉄道側が負担としているが、どう考えているか。

A

都市整備部長／自由通路は、国の要綱に基づき市が全額負担する。自由通路の整備により現駅舎が支障となるため、その機能補償として橋上駅舎を整備するが、国の要綱に定められている鉄道事業者の負担分を名鉄に求めていく。



中日ドラゴンズファーム 拠点の移転先誘致

安田 吉宏



Q

誘致に向けた本市の方向性について。

A

市長公室長／令和7年11月にプロジェクトチームを立ち上げた。バンテリンドームナゴヤから車で30分ほど、かつ名鉄瀬戸線一本でつながっている優れたアクセス条件を備えている、高橋宏斗投手の出身地、少年野球が盛んな地域、中日ドラゴンズとの相互支援協定の締結等、本市には大きな強みがある。現在、条件の課題を整理し、条件に対して優位性のある候補地に絞って検討を進めている。

熱中症から市民の命と 健康を守る対策について

川村 つよし



Q

低所得者向けに電気代補助制度の実施を求める。

A

健康福祉部長／災害級の暑さから市民の命と健康を守る上で、非常に重要な課題だと認識している。特に生活保護世帯においては、冬季加算はあっても夏季加算はなく、経済的負担から冷房使用をためらう懸念について十分承知しているが、電気代補助制度を市単独で創設することは難しいため、クールシェアスポットの積極的紹介、酷暑日予報時などの重点的見守り活動の実施など、丁寧な呼び掛けを行っていきたい。

高次脳機能障害への 理解促進について

片瀬 卓三



Q

高次脳機能障害は外見から分かりにくく、誤解されやすい障がいである。市として、支援者等への啓発をどのように進めていくのか伺う。

A

健康福祉部長／高次脳機能障害は外見だけでは分かりにくく、当事者や御家族が孤立しがちであると認識している。市では広報誌やホームページで特性や支援制度、相談窓口、支援団体を分かりやすく掲載し、SNS等も活用して啓発を進める。また、県内2か所の高次脳機能障害支援センターの情報を周知し、地域全体で理解促進に努める。

道路交通法改正が 始まって

秋田 さとし



Q

愛知県や市内での自転車による違反の取締り状況は。また、今後の道路整備(路面標示、標識等)をどのように考えているのか。

A

市民生活部長／警察署ごとの件数は公表されていない。愛知県内では、4月の青切符交付件数は257件、指導・警告は2,091件であった。
市民活動課長／特に一時停止違反が188件で最多、次いで携帯電話、信号無視となっている。
都市整備部長／道路整備は、自転車通行空間としての安全性や連続性等も考慮し、整備の方向性について検討する。



陳情の取扱い方法を変更しました



陳情の取扱いが、次のとおり変更となりました。

変更前

要件を満たした陳情については、請願と同様の取扱いとする。



変更後

請願のように審議の対象とせず、全議員へ陳情書の写し(データ)を配付する。

提出いただいた陳情は、各議員の議員活動に活用させていただきます。また、議員と相談し、請願としての提出もご検討ください。

※請願の取扱いについては、変更ありません。詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。

市議会と意見交換会を行う団体を募集しています



市議会では、市内で活動する団体や自治会等の皆様との意見交換会を開催しています。

議会及び議員の活動について理解を深めることや、市民の皆様様の様々な意見を参考にし、政策立案機能の強化を図り、市政にいかすため、意見交換会を開催しています。

お申込みをされる場合は、開催希望日の3か月前までに、「意見交換会開催申込書」を議会事務局までご提出ください。

詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。

令和8年 第5回 9月定例会の日程

日	月	火	水	木	金	土
8/23	24	25 本会議(初日)	26	27	28	29
30	31 本会議(一般質問)	9/1 本会議(一般質問)	2 本会議(一般質問) 予算決算委員会	3	4	5
6	7	8 福祉文教委員会 予算決算委員会 ・福祉文教分科会	9 都市環境委員会 予算決算委員会 ・都市環境分科会	10 総務委員会 予算決算委員会 ・総務分科会	11	12
13	14 予算決算委員会	15	16 議会運営委員会	17 本会議(最終日)	18	19

※本会議・委員会は、原則午前9時30分から始まります。



令和7年度政務活動費の収支実績



政務活動費は、議員の調査研究その他の活動における必要な経費の一部として、「尾張旭市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき交付されています。

収支報告・領収書(写)・実績報告書などの詳細を市議会のホームページに掲載しています



■ 交付の対象

- 交付会派（会派に対する交付を選択した会派）
- 個別交付議員（所属議員全員に対する個別の交付を選択した会派の議員、会派に所属しない議員）

■ 交付する額

1人につき月額1万2,500円

収 支 実 績 一 覧

（令和7年4月分から令和8年3月分まで）

< 交付会派 >

会派名	人数	交付額	支出額	返還額
市民クラブ	5名	750,000円	277,358円	472,642円
愛知維新の会尾張旭市議団	2名	300,000円	16,780円	283,220円

< 個別交付議員 >

議員名	交付額	支出額	返還額
秋田 さとし	150,000円	70,190円	79,810円
芦原 美佳子	150,000円	50,020円	99,980円
片渕 卓三	150,000円	47,240円	102,760円
川村 つよし	150,000円	159,526円	0円
さかえ 章演	150,000円	0円	150,000円
榊原 利宏	150,000円	111,885円	38,115円
陣矢 幸司	150,000円	54,328円	95,672円
谷口 武司	150,000円	51,380円	98,620円
日比野 和雄	150,000円	0円	150,000円
松原 たかし	150,000円	0円	150,000円
丸山 幸子	150,000円	23,620円	126,380円
安田 吉宏	150,000円	0円	150,000円
若杉 たかし	150,000円	0円	150,000円

市議会だよりの記事に関するご意見・ご質問をお寄せください

(0561)76-8186
(0561)52-2222
giji@city.owariasahi.lg.jp

市議会だよりは、3月、6月、9月、12月の年4回の定例会、また、必要に応じて開かれる臨時会の議事の内容を中心に編集、発行しています。